第7講

自己アピールの必須要素

チャプター1 自己アピールの要素① 自分の特性

チャプター2 自己アピールの要素② アドミッション・ポリシーとの適合

チャプター3 自己アピールの要素③ 過去の成長物語

チャプター4 自己アピールの要素④ 未来に向けた成長プロジェクト

答案例を見てみよう

○ 答案例①

多くの意見や視点をもとに、適切な解を導く姿勢が研究活動では欠かせない。私は他者の価値観を受け入れる努力を通して、こうした大学への学びに備えてきた。

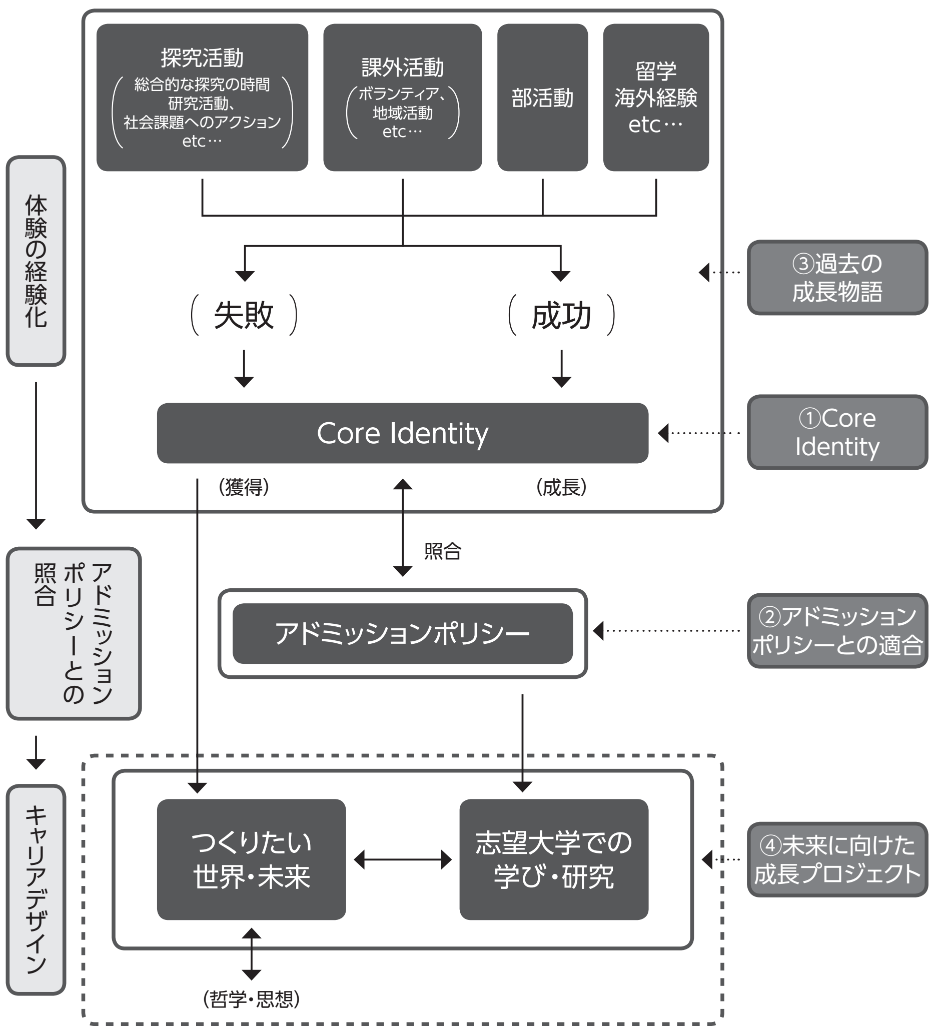
この力を身に付けることができたのは、吹奏楽部で副部長と部長を歴任したことによる。我が部では意見を一方的に述べる上級生と反感を持つ下級生の間で軋轢が生じていたため、私が部長になった際に、意見を聞くときに部員全員へのヒアリングを行った。演奏する曲の候補選択、パートリーダーや学生指揮者の選定、練習メニューの決定などのヒアリングをして、その結果を必ず一人一人に伝え、そうなった理由も添えた。また、相手の価値観を否定することのない表現を心がけ、相手に寄り添う気持ちで取り組んだ。おかげで一度も部の方針で対立を生まず、部員が１人も欠けずに引退を迎えられたことは私の誇りである。

価値観を大切に思いながら傾聴すると、相手の意見を感覚的に判断しなくなる。相手の気持ちを理解する心の余裕も生まれる。一方、決定した事柄に不満を抱く人には、決定の理由をきちんと説明することもできる。加えて部員が意見を正当に述べる機会を設け、結果に納得できる環境を整えることもできるようになる。多くの人々が異なる意見を持つことを理解し、それらを一度受け入れ、客観的にその意見を判断することは、共生社会を築くうえで非常に重要であり、求められる思考であると考えている。

将来、私は○○大学法学部政治学科を志望しているが、政治課題の検討には他者の価値観を受け入れることが必ず求められる。異なる主張を持つ人々の意志やその主張の背景まで理解するように努めることで、事柄を客観的に捉えるとともに、民意を正確に把握することができる。私は、政治課題を多面的に捉える力を貴学で鍛え続け、民意が反映された政治が行えるように成長したい。

生徒メモ欄

○ 自己アピール構築の概念図



生徒メモ欄

教員記入欄